

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
第4回ショートフィールドビジットを実施しました

広島に投下された原子爆弾による被害のより深い理解と、その被害からの復興について学習し、放射線災害復興学の修学の一助とすることを目的として、平成26年8月6日に第4回ショートフィールドビジットとして、広島平和記念公園で举行された広島記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式）への参列及び広島大学東千田キャンパスで執り行われた広島大学原爆死没者追悼式へ参列しました。

あいにくの雨天での式典挙行は43年ぶりとのことですが、碓井法明広島市議長による式辞、松井一實広島市長による平和宣言、また、こども代表の平和への誓いを拝聴しました。

広島記念式典への参列後に広島大学東千田キャンパスへ移動しての広島大学原爆死没者追悼式では、原爆死没者名簿奉納、黙とう、広島大学長による追悼の辞に引き続き、本プログラムの代表学生が献花・献水に参列し、広島に立ち返る非常に貴重な機会となりました。

なお、本ショートフィールドビジットには、平成25年度博士課程教育リーディングプログラム（複合領域型—多文化共生社会—）採択プログラムである広島大学「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」所属学生も参加しました。



平和公園での集合写真
(フェニックスプログラム学生5名
たおやかプログラム学生3名)



代表学生 献花